



「勉強が面白くて仕方ない！」

自信をもって、
そう言い切れます

ルーツは「ものづくり」が好きなこと

昔から絵を描くことが好きで、美大を目指した時期もありました。そんな中、平面よりも立体が好きということに自分で気づき、「ものづくり」という分野に興味を持ちました。

高校3年生の進路選択のタイミングで偶然見ていたテレビ番組で、宇宙の特集をしていてとてもワクワクしたことから、宇宙航空分野のサポートがしたい！と思い、自分で大学のことを調べる中で富山大学の都市デザイン学部、材料デザイン工学科の受験を決めました。

学べることが楽しくて仕方がない

大学に入学して変わったなと自覚していることは、髪色を派手にしたりピアスの穴を開けたり自分の好きなファッションを選ぶことです。自分の根本的なところは変わっていません。

大学に入学したときに、「**やっと自分の好きなことを勉強できる!**」と思いました。とにかく学べるのが楽しくて仕方がなく、その結果学部生の頃は2、3年次に学部で選ぶ成績優秀者として表彰されたりもしました。基本的に「**失敗しても大丈夫**」と思っているから、どんどん新しいことに挑戦でき、たくさんの発見がある今の研究分野は自分に合っているなと思います。

研究室で企業の方からの学びの機会があります!

材料プロセス工学研究室の柴柳教授を、様々な企業の方が研究の相談や見学で訪ねてきます。教授の紹介で名刺交換をする機会も多く、研究のお話を聞けたり、普通に大学生活を送っているだけでは絶対に出会えない人と出会えたり。自分の経験値になり、本当に刺激になります!

縁の下の力持ちポジションが自分に合っている

富山大学に入学する前からの「**宇宙航空分野のサポートがしたい**」という気持ちに変わりはありません。実際にはJAXAなど宇宙にかかわる業界もありますが、自分には「**縁の下の力持ち**」のようなポジションが合っていると思っているので、宇宙航空業界を支えられる研究職を目指しています。



母校の後輩へ

皆さんは授業・課題・部活・テスト・受験勉強などで毎日大変な日々を過ごしていると思います。私は高校を卒業して4年経ちましたが、たまに思い出します。きっと今が大変でも、時間が経てば全部思い出になって笑い合える時が来ます。

なので、今を全力で頑張ってみてください! 離れている地から、皆さんのことを応援しています。ファイト!